

農技セ第 5035 号
令和 8 年 8 月 3 日

各関係機関長 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病虫害防除所長

令和 8 年度農作物病虫害発生予察情報について

令和 8 年度農作物病虫害発生予察注意報第 4 号を発表したので送付します。

令和 8 年度病虫害発生予察注意報第 4 号

令和 8 年 8 月 3 日
徳 島 県

今年度は、果樹カメムシ類の予察灯調査における誘殺数が、平年に比べて多い状況が続いています。特に、7 月 1 日以降の誘殺数が平年と比べて非常に多くなっています。

今後、果樹園への飛来及び被害の拡大が予想されますので、注意報を発令します。

現地圃場においては、本虫の発生状況を注視するとともに、適切な防除指導をお願いします。

作物名：果樹全般(特にカンキツ類、カキ、キウイフルーツ)

病虫害名：果樹カメムシ類(ツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ)

1. 発生地域 県内全域

2. 発生時期 8 月上旬～

3. 発生程度 多(前年より多く、平年より多い)

4. 注意報発令の根拠

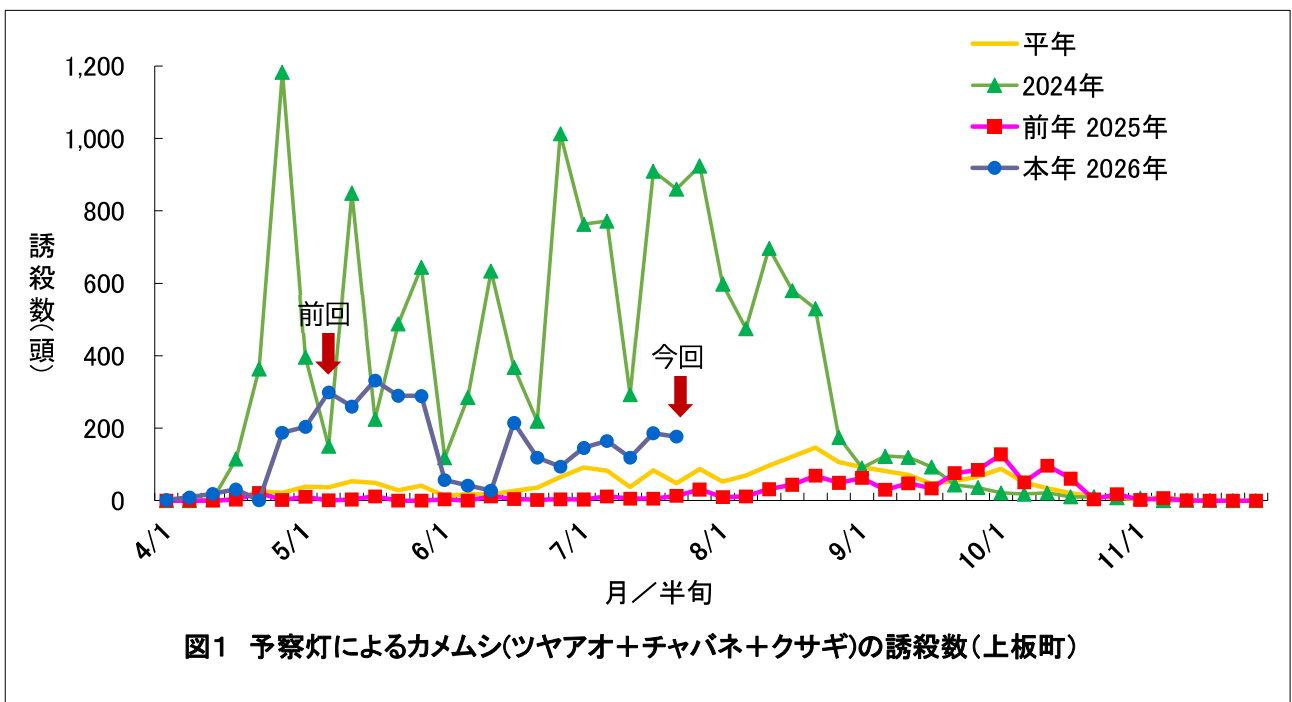
(1) 上板町及び勝浦町に設置した果樹カメムシ類予察灯において、7 月 1 日から 25 日までのツヤアオカメムシ、チャバネアオカメムシ、クサギカメムシの誘殺数が、上板町では 793 頭と平年(344 頭)の 2.3 倍となりました(図 1)。また、勝浦町では 2,580 頭と平年(547 頭)の 4.7 倍が誘殺されました(図 2)。

(2) 高松地方气象台が 7 月 23 日に発表した 1 か月予報では、気温は平年より高い状態が続くと予想されており、今後果樹園への飛来及び加害の増加が予想されています。

(3) 本年 5 月 13 日付けの病虫害発生予察注意報第 1 号において、果樹カメムシ類の注意報を発令しています。

5. 防除法等

- (1) 8月以降は、果樹園周辺の山林や雑木林から次の世代の成虫が飛来してきます。園内を巡回し、飛来を確認したら早急に防除を行ってください。
- (2) 果樹カメムシ類は夜行性のため、薬剤の散布は夕方か早朝に実施することで防除効果が高まります。
- (3) 移動性が高いので、広域一斉防除により防除効果の向上に努めましょう。
- (4) 飛来が続く場合は継続的な防除が必要となります。多発時には、合成ピレスロイド系剤(IRACコード：3A)が防除に適しますが、薬剤の影響でハダニ類、カイガラムシ類が増加する場合があるので注意してください。
- (5) 薬剤を散布する場合は、風向きに注意し、圃場周辺への薬剤飛散防止に努めましょう。なお、風の強い日の散布は控えてください。
- (6) 今後の発生動向については、農林水産総合技術支援センターウェブページ内、病害虫防除所の各種データ(<https://www.pref.tokushima.lg.jp/tafftsc/t-boujoshou/various-data/preliminary-guess-light/>)を参考にしてください。
- (7) 防除については、徳島県植物防疫指針(<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/tokushima>)を参照するとともに、薬剤の使用にあたっては、必ず農薬ラベル記載事項を遵守してください。



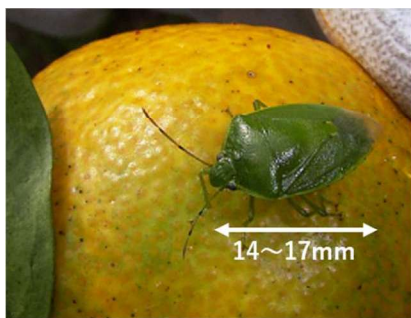
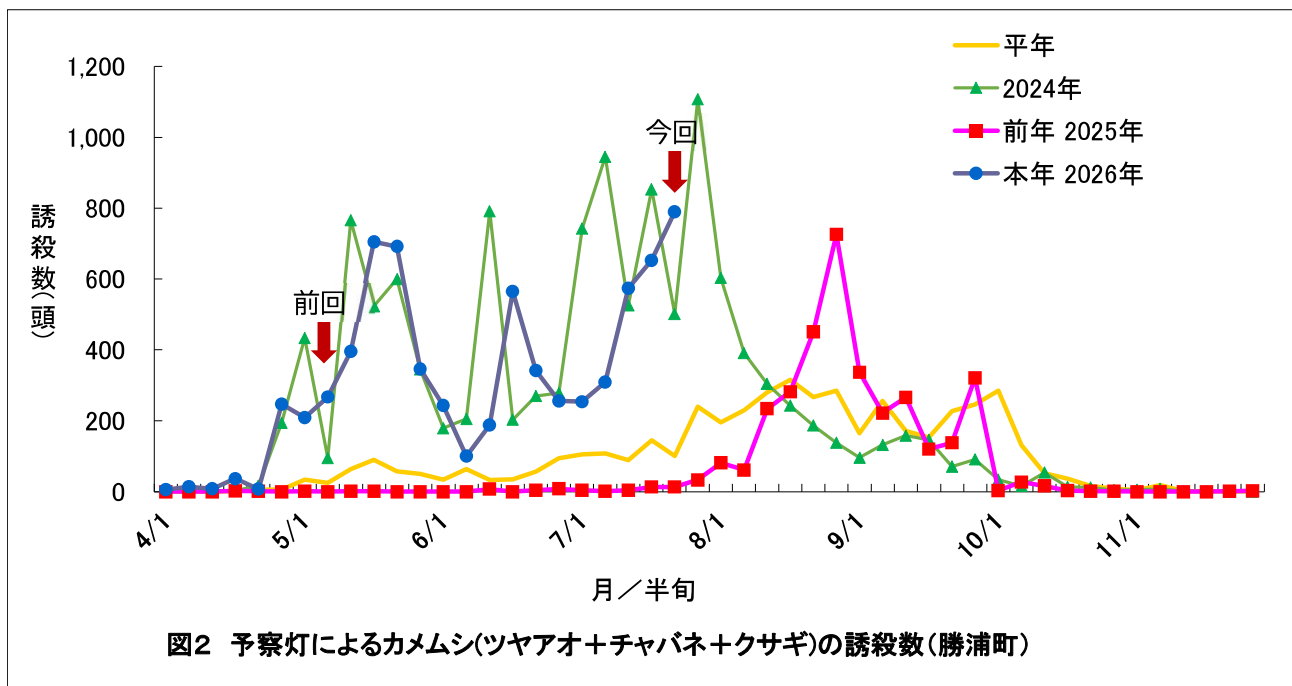


図3 ツヤアオカメムシ



図4 チャバネアオカメムシ

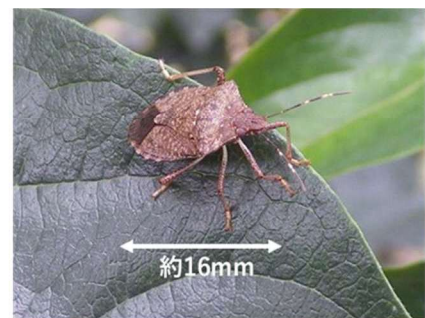


図5 クサギカメムシ